

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	C077	行事名	米中対立における標準化戦略	
行事形式	セミナー	主催団体	一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ) 標準化推進委員会	
開催日	10月13日 15:00-16:30		開催場所	オンラインセミナー (講師および主催者は会議室にて講演実施)
行事参加者数	57名		WebサイトURL	https://www.ciaj.or.jp/
行事実施概要・アピール等				
<p>1.講演者 細川昌彦氏、明星大学経営学部教授 (元JETROニューヨーク・センター所長) (牧野委員長が司会を担当)</p> <p>2.講演概要 米中対立が激化する中、ハイテクを巡る技術覇権が焦点になっている。中国は、その手段としてモノ造りや標準化を国家戦略/国策として取り組んでいる。米国も従来より中国を意識。日本は、国際標準に対しての向き合い方として、こうした新たな国際的な動きを踏まえて対応する必要に迫られている。中国の従来から技術の取り込み戦略(手段)に関する事例と留意点が述べられ、これからの日本が重要ハイテク技術(基盤と応用の双方)を中国へ流出させない各レベル(国、企業、現地法人)での濃淡を付けた管理体制が必要な旨を強調された。米国や欧州は、このような管理体制を進めている。また、最近の中国の知財管理(その保護や賠償制度)が紹介され、これらへの留意点が述べられた。</p> <p>3.質疑応答 「Eu各国の対応はどうか?」「中国のビジネスへの取り組み方には、国際規範に反する傾向があるが、我々が対抗する術は?」「通信装置の標準化活動にも同様な動きがあるが対策は?」などについての議論が行われました。</p> <p>4.アンケート結果 「大変有意義であった」は56%、「有意義であった」が44%との感想を得て、大変好調であった。</p>				

